

会 議 記 録

会 議 名	第五次和光市総合振興計画策定委員会 第3回会議
開 催 日 時	令和元年10月9日（水）午後1時00分～午後2時00分
開 催 場 所	庁議室
次 第	1 開会 2 議事 (1) 第五次和光市総合振興計画策定に向けた課題整理について (2) 総合振興計画構成イメージについて (3) 施策体系について 3 報告 (1) 社会潮流について (2) 第四次和光市総合振興計画及び総合戦略における施策指標について (3) 財政推計算出資料の提出について (4) 第1回審議会意見への対応について 4 その他 5 閉会

1 開会

2 議事

(1) 第五次和光市総合振興計画策定に向けた課題整理について

事務局説明

資料1「第五次和光市総合振興計画策定に向けた課題整理シート」は、各課所が作成した「課題整理シート」について、9月30日（月）の課長級による検討委員会における意見を反映したものとなっています。なお、本課題整理シートについては、第四次総合振興計画の振り返りを趣旨としており、第五次総合振興計画における新たな施策体系に基づき生じる課題は別途追加でも検討していきます。

本日は、本課題整理シートに基づき、ご意見をいただきたいと思いますと考えております。

本資料に掲げられている課題のほかに、第五次和光市総合振興計画の策定にあたり論点とするべき課題などがございましたら提示いただきたいと思います。また、課題認識に問題があるものが見受けられましたら併せてご意見をお願いします。

【意見・質問】なし

→ 総合振興計画審議会へ提出

(2) 総合振興計画計画の構成イメージについて

事務局説明

総合振興計画構成イメージについての現状の案は、資料2の第五次和光市総合振興計画基本構想構成イメージ案は、第四次和光市総合振興計画から大幅に構成を見直し、5つの章で構成することを検討しています。

まず、第1章としてまちづくりのコンセプトを示します。第四次でも示していた将来都市像のほか、マップを用いて論点を可視化する空間デザインや個々の市民のライフスタイルを意識して示す実現したい市民生活の目標像といったものを示していくことを検討しております。

第2章では、第1章で示した目標像について、それぞれの論点ごとにその在り方を示したものを示していきたいと考えています。こちらは、従来の基本目標に相当する概念に近いですが、より市民生活の実感に近づけたものとし、それを市民ワークショップである和光100年まちづくり会議などを通じて作り上げていくことを検討しています。

第3章では、まちづくりのコンセプトと目標像を踏まえて、個別施策の現状と課題や取組内容を示したものとなります。従来における個々の施策のページと同じような考え方によるものです。

第4章では、計画の実現に向けてということで、財政計画や行政経営などについて触れていきます。財政計画については、個別の大型投資事業の積算に基づき作成することで、財政的な裏付けのある計画としていきます。市民参加や行政経営などについては、第四次総合振興計画の際には、「構想の推進に当たって」として施策と同列で整理されていたものですが、位置づけを見直し、この章で取組の方向性を示すことを検討しています。

最後に第5章として、補章の和光市の状況についてを示します。第四次総合振興計画においては、計画の冒頭で記載されていた策定の前提条件について、後ろの章で示すことを検討しています。これは、市民への周知を見据えて、コンセプトなどのメッセージをはじめに伝えられるようにした構成とすることを意図しており、細かい前提条件などについては、より関心を持った方に見ていただくというような考え方に基づいています。最近の他市の総合振興計画等では、概要版において、読本形式といってこのような順序での構成とする例が多いのですが、そうした発信も見据えて、計画本体の段階でそうした順序としているところです。

第1章・第2章の計画の骨格となる部分については、市民参加のワークショップである和光100年まちづくり会議や若手職員によるプロジェクトチームなどの取組を主軸として策定を進めていきます。

第3章の個別施策については、そういった検討を踏まえての行政として行っていく取組について、各課所が主体となって作成していくという考え方で今後策定を進めていきたいと考えています。

【意見・質問】

- ・第1章の「将来都市像」と第2章の「市民生活の目標像」の違いを教えてください

さい。

→ 将来都市像は「みんなでつくる快適環境都市わこう」のような全体を示すイメージをしていただければと思います。市民生活の目標像は、資料 3-1 のようなよりブレイクダウンした形で分野別に階層を分けて示したものです。

・目標像を抽出・集約すると将来都市像になりますか。

→ 将来都市像をブレイクダウンすると目標像になると理解しています。

・まちづくりのコンセプトからどのようにして目標像に紐づけていきますか。

→ 第 1 章と第 2 章については和光 100 年まちづくり会議と若手職員のプロジェクトチームを主体として取組を進めていきます。会議の中で議論を重ね、第 1 章と第 2 章の関連性を密接にしていこうと考えています。

・「市民生活の目標像」は第四次和光市総合振興計画でいう 4 つの基本目標と同じものというイメージでよろしいですか。

→ そうです。

・「第 5 章 補章(和光市の現状)」というのはそのまま使用されますか。それとも題名を付けますか。「和光市の現状」でも良いと思います。

→ より良いものがあれば見直していきたいと考えているので、検討させていただきます。

・「第 5 章 補章(和光市の現状)」の「策定の前提条件を『補章』として位置づけ、順序を入れ替える」と「冗長ではなく…」について詳細をお聞かせください。

→ 「順序を入れ替える」というのは、第四次和光市総合振興計画では最初に前提条件が記載されているため、順序を入れ替えるという意味です。

「冗長ではなく」という意味は、まず本編から入って、細かい説明を後ろのページに整理するという内容です。

(3) 施策体系について

事務局説明

資料 3-1 が、第 1 章で示す「実現したい市民生活の目標像」の全体イメージの叩き台です。今後和光 100 年まちづくり会議などを通じて、和光市の特色などを踏まえたブラッシュアップを進めていくことを前提としています。

ここでは、具体的な 1 人の市民を思い浮かべて、どのような生活をしてほしいかという視点での整理を行っています。

まずは、和光市に住むにあたり必要不可欠な状況が整ったうえで住むことから始まります。目標像 1 として暮らしの基盤が整っているということですが、現在和光市で進めている土地区画整理事業なども含めた基盤整備がしっかり整うことでそうした環境に住むということからスタートしています。

そして、そこでは目標像 2 として身の回りの問題・危険性が解消されており、安心して生活することができるようになります。

そのうえで、目標像 3 から 6 ですが、それぞれのライフステージごとに充実した生活を送れるようにしていきます。まず、子ども時代については子どもらしい学び

や体験ができ、大人になったら安心して妊娠・出産・子育てができ、高齢者になったら生きがいを持って暮らし続けられるようにしていきます。そして、何かしらの形でハンデを持つような状況に陥ったとしても自立した生活と社会参加ができるようにしていきます。

そのうえで、目標像 7、8 で示すように、健康で働くことなどもでき、そうした基本的な条件が整ったうえで、自己実現的な観点で、目標像 9 のように趣味なども含めた充実した地域生活を送ったり、目標像 10 のようにまちや人とつながりより心豊かに過ごせたり、さらには目標像 11 のように和光に愛着と誇りを持って過ごせたりできるようにしていければという考え方です。

こうした叩き台に基づき、市民と議論を深めていき、今後 10 年間における和光市民の姿を描いていければと思います。

次の資料 3-2 については、資料 3-1 で示した 11 の目標像を分野ごとにブレークダウンして 48 の個別施策に整理し、それを現状の第四次和光市総合振興計画の施策や取組内容と対応させた表です。市民目線からの目標像に組み替えることにより、第四次和光市総合振興計画の施策体系の括り方と大きく変化していくことになりますが、それぞれの目標像を部門横断的に取り組みながら実現していくことの現れとなっています。

4 ページ目は、先ほど構成イメージの内部事務については、個別施策には位置付けず、第 4 章の「計画の実現に向けて」にて取組の方向性を示すという整理としています。なお、内部事務に関する施策が多く含まれていた四次総における「V 構想の推進に当たって」の方針のうち、窓口サービスや地域間連携、シティプロモーションなどについては、個別施策に位置付けています。

本資料においては、現行の四次総との対応関係をイメージしていただく観点から、旧施策や旧取組内容を掲載しておりますが、本日ご議論いただいた課題整理や社会潮流、和光 100 年まちづくり会議の結果などを踏まえて、第五次和光市総合振興計画で取り組んでいくべき課題を整理したうえで、新たな施策体系を組んでいければと考えております。

【意見・質問】

・ 9 の施策名と取組内容は大きく変わりますか。

→ そうです。

・ 資料 3-1 は事務局案ですか。今後審議会等で議論されるものでしょうか。

→ それ以前の叩き台のレベルです。和光 100 年まちづくり会議の中で、目標像に取り入れられるようなキーワードの抽出を行っていき、取り込んだものを審議会で示し、合意形成を図ってまいります。

・ 第四次和光市総合振興計画における 4 つの基本目標は「まち」をキーワードに様々な方面から見ていますが、今回の「心豊かに、満足度の高い生活が送れる」は全ての目標像に包含していると感じます。包含している内容の大小の差が違う気がします。

→ そちらを検証する観点で資料 3-2 を作成しました。和光 100 年まちづくり

会議でのキーワードという中で、今2つあるものを1つにする等の検討も行っています。

・資料3-2「市民目線からの目標像」はどちらから抜粋したのですか。

→ 事務局内で検討し、コンセプトを選定しました。国からの指針等ではありません。

・「市民目線からの目標像」と「個別施策」は、新たに検討する内容だと思いますが、「(旧)施策名」と「(旧)取組内容」も見直しを行いますか。現在の事業体系も大きく変わりますか。

→ そうです。

・プロジェクトチームはどの部分に携わりますか。

→ 第1章と第2章を担当します。組立てについては課長級の検討委員会で審議します。

3 報告

(1) 社会潮流について

事務局説明

資料4の社会潮流は、総合振興計画策定にあたってのコンサルティングをお願いしている梵まちづくり研究所から提供された資料で、第五次和光市総合振興計画の策定にあたり留意すべき全国的な社会潮流に関する事項をまとめた資料となっています。

1 ページ目は人口減少社会への突入と高齢化のさらなる進展についてです。和光市におきましては、当面は人口増加が続くとともに生産年齢人口の比率も維持される見通しですが、日本全体としては人口減少が進むとともに、担い手・働き手となる現役世代が減少していく見通しとなっています。こうした状況を踏まえて、社会全体として生産性の向上などが求められている状況となっています。

3 ページ目は、2030年までの国際目標として国連サミットで採択されたについてです。17つの目標が設定されているところですが、誰も取り残さない社会の実現に向けて、世界的に取り組むことが求められており、和光市の地域においても留意していくことが必要となっています。

4 ページ目については、日本各地で起きる地震や豪雨など自然災害が頻発しております。こうした被害のほか、巨大地震も切迫していることもあり、防災対策の必要性や関心が高まっている状況となっています。

5 ページ目については、新たなモビリティサービスの動きなどが生まれています。高齢化に伴い、自家用車に依存しがたい状況が広がっているなか、本市においても交通に関する検討の重要性が増しています。そのような中、技術革新を受け、IoTやAIを活用したMaaS等の新たなモビリティサービスへの取組が活発になっています。MaaSというものは、出発地から目的地までの移動ニーズに対して最適な移動手段をシームレスに提供する等、移動を単なる手段としてではなく、利用者にとっての一元的なサービスとして捉える概念です。また、次の6ページに新型輸送サー

ビスが様々掲載されておりますが、本市においてもシェアサイクル事業の実証実験を開始したところです。

7 ページ目には、観光立国の実現に向けた動きということで、国全体としてインバウンド需要を狙っていこうというような動きがある状況となっています。そのために、各都市が競争力を磨いていくとともに、多様な外国人を受け入れることができる環境整備が重要となってきています。

8 ページ目には、健康・医療・福祉のまちづくりとして、本市でも推進している「地域包括ケアシステム」などについての重要性が示されています。

10 ページ目には、居心地が良く歩きたくなるまちなかに関する論点が示されており、都市の在り方のイノベーションが求められています。

11 ページ目にはソサエティ 5.0 が示されています。これは、狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に続く、新たな社会のことであり、サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会として示されています。これについては、特に行政領域においては、様々なテクノロジーを活用し、行政改革を進めていくことなどが求められていると考えられます。

最後に 12 ページの生涯にわたり学び続けられる社会の実現で、多様化し複雑化する課題と社会変化への対応の要請から、社会教育を基盤とした、人づくり・つながりづくり・地域づくりが求められております。

このほかにも、課題整理シートの中にも、様々な分野における社会潮流が示されているところですが、これらなどにつきまして、今後の総合振興計画の策定にあたっての参考にしていただければと思ひまして、情報提供させていただきました。

【意見・質問】

・日本は観光資源が少なく飽和状態で、観光公害になっています。また、グローバルズムを受け入れるのかどうかはまちづくりの中で大きな問題になっていると思います。そういった視点がなく社会潮流が正しいと思っていると、想像と違う社会になる可能性があります。行政の形が日本全国同じになると、道徳的に正しいことが誘導されてしまうので、今後取り組む中で自分たちで議論する必要があると思います。

→ どの論点を取り上げて審議会にかけると様々な観点があると思います。

・新たなモビリティサービスについて、交通政策の視点で柱建てが必要だと感じます。

→ 交通関係については、和光 100 年まちづくり会議の中でも強い関心を持たれているが多かったです。そういった声を踏まえてより重みを持って提供することを検討したいと思います。

(2) 第四次和光市総合振興計画及び総合戦略における施策指標について

事務局説明

資料 6-1 は、第四次和光市総合振興計画で設定されていた施策指標について、

資料6－2には、和光市まち・ひと・しごと創生総合戦略で設定されていた施策指標について、それぞれ策定時の現状値、直近の現状値、設定されていた目標値を整理した資料となっております。

こちらにつきましては、各課所から提供いただいた数値の情報を取りまとめたものとなっておりますが、資料1の課題整理シートと併せて、総合振興計画審議会に四次総の進捗状況に関する参考資料として提出することを予定しております。

【意見・質問】

・「まち・ひと・しごと創生総合戦略」について、策定委員会で検討を行いますか。

→ 第二期まち・ひと・しごと創生総合戦略は五次総と一体化したものという位置づけになるため、その中で検討を行う形です。

・総合振興計画とまち・ひと・しごと創生総合戦略はどのようなイメージで作成しますか。

→ 総合振興計画がまち・ひと・しごと創生総合戦略と兼ねているということを明記するだけに留める予定です。

・「第五次和光市総合振興計画策定方針」の策定スケジュールに「まち・ひと・しごと創生総合戦略の延伸案の検討」が記載されていますが、どこで行いますか。

→ 9月の政策会議で検討を行い、延伸の手続きを完了しています。

・まち・ひと・しごと創生総合戦略の視点をどういった形で五次総に取り入れられますか。

→ 総合振興計画がまち・ひと・しごと創生総合戦略と兼ねているという注釈を加えます。2つの計画を分けることはせず、まち・ひと・しごとで触れられていた内容で五次総に引き継ぐべき内容があれば行うことを前提としています。

・まち・ひと・しごとは策定し続けるよう国から指導されてるため「第五次和光市総合振興計画・まち・ひと・しごと創生総合戦略」と表記する必要があると思います。

→ 計画の位置付けの部分に記述する予定です。最終的なレイアウトの段階で検討していきたいと考えています。

・子ども・子育て支援事業計画は、元々の法律の次世代育成支援行動計画が延長されたため、子ども・子育て支援事業計画という名称はそのままにし、包含しています。

→ そちらに近いイメージです。

(3) 財政推計算出資料の提出について

事務局説明

資料5の「第五次和光市総合振興計画財政推計算出資料の提出について（依頼）」ですが、先日の検討委員会にて、課長級の委員の皆さまに、第五次和光市総合振興計画財政推計作成のため、こちらの依頼文に記載しておりますとおり財政推計算

出資料の作成・提出をお願いしております。

調査内容は、令和2年度～令和12年度までの投資・臨時的事業見込額、職員人件費等見込額、特別会計及び企業会計の歳入歳出見込額等及び市税歳入見込額についてとなります。

すでにサイボウズ掲示板などでも各課所に依頼済の状況となっておりますが、総合振興計画の策定にあたり重要な取組ですので、策定委員会の場にも報告させていただきました。

【意見・質問】なし

(4) 第1回審議会意見への対応について

事務局説明

第1回審議会における審議会委員からの意見への対応について、資料7-1の通りとすることを検討しております。

基本的に、審議会にて提示した基礎調査結果について、より詳細な情報提供を求められたものとなっておりますので、それに対応した資料を作成するなどして、説明を行うことを検討しております。

その一環として提出する市民意識調査結果報告書を資料8として配布させていただいております。市民意識調査結果のポイントについては、前回の策定委員会にて報告させていただいたところですが、本資料においては、属性別のクロス分析や67ページ以降の自由意見の掲載など、詳細な情報を掲載しておりますので、総合振興計画の策定のほか、市政の運営にあたり参考にしていただけたらと思います。

なお、本日の資料は白黒印刷としておりますが、審議会委員には、カラー印刷での提供を予定しております。

【意見・質問】なし

4 その他

事務局説明

次回の総合振興計画策定委員会につきましては、11月13日（水）の政策会議後に開催を予定しております。内容は、第5次和光市総合振興計画基本構想骨子（案）についてご確認いただくことを予定しています。

【意見・質問】なし

5 閉会